

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新築(簡易版) 2010年 大阪府版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010oskv1.4

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)泉佐野 若宮町マンション	階数	地上10F
建設地	大阪府泉佐野市若宮町4547番8	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	126 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,300 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年9月 予定	評価の実施日	2014年8月30日
敷地面積	892 m ²	作成者	栗本建設工業株式会社 西本 雅
建築面積	388 m ²	確認日	2014年9月1日
延床面積	3,142 m ²	確認者	栗本建設工業株式会社 西本 雅



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	97%
③上記+②以外の	97%
④上記+	97%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.0

音環境	3.1
温熱環境	5.0
空気質環境	4.0
空気質環境	3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

機能性	2.6
耐用性	3.1
対応性	3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

建物の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.0
効率的	N.A.

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

水資源	3.4
非再生材料の	2.7
汚染物質	3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化	3.1
地域環境	2.9
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	北西側の境界際とエントランスアプローチ沿いに緑地帯を多く設け、周辺環境に配慮した。又敷地内に駐車場及び駐輪場を設置し、入居者の利便性に配慮した。	その他 特にありません。
Q1 室内環境	住戸部分の天井については、遮音等級T-2を採用。又住戸部分の内装仕上げ材についても F☆☆☆☆の材料を使用する。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に出来るかぎり植込を設け、平面式駐車場部分も植栽がロック舗装とし、可能な限り 緑地を設ける様に努めた。
LR1 エネルギー	共用部の照明設備について、一部LEDを採用。	LR3 敷地外環境 特にありません。
Q2 サービス性能	オートロック設備、防犯カメラ設置等 快適な住空間となる様に配慮した。	
LR2 資源・マテリアル	便器については、節水型の器具を採用。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)泉佐野 若宮町マンション		
	建設地	泉佐野市若宮町4547番8		
	用途/区分	集合住宅		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			3
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			3
	エネルギー消費量の報告			対象外

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.1	3	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 住戸・宿泊	3
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	—	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.4	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	
みどり ヒートアイランド対策	③ みどり・ヒートアイランド対策			
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				